

## 水田貯留「田んぼダム」の手引き

田んぼの落水口（一筆排水柵）に切欠のある「田んぼダム用セキ板」を追加し、激しい雨の時に田んぼの排水を抑制することで、雨水を一次的に田んぼに「ためる」取組です。

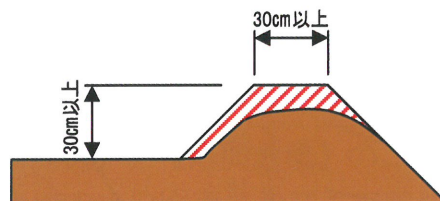
### Step1 取組田の選定

はじめに、雨水貯留に取り組むことについて、集落内での合意形成を図ったうえで、ほ場整備を実施した田んぼを中心に、雨水貯留に取り組む田んぼを選定します。

### Step2 あぜの補強

雨水貯留では、大雨時に水位が最大で現行よりも10cm上がるため、あぜが痩せていると崩壊の危険があります。このため、セキ板を設置する前に水田を点検し、痩せているあぜについては、あぜ塗り機等によりあぜを補強します。

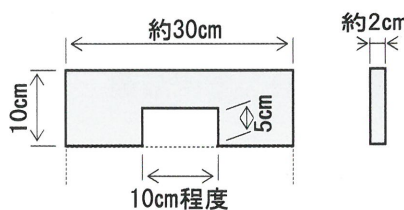
（あぜの高さと幅は30cm以上を確保）



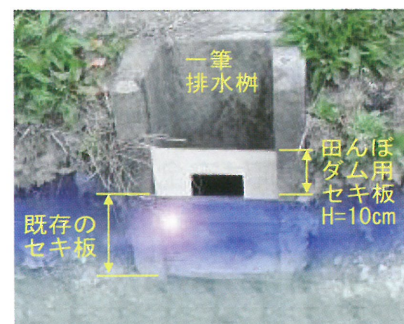
### Step3 セキ板の準備・設置

#### 【田んぼダム用セキ板】

- ・下図のように切欠きのあるセキ板を準備します。
- ・材質は、木材※やスレートなど一定の強度があるものが望ましいです。



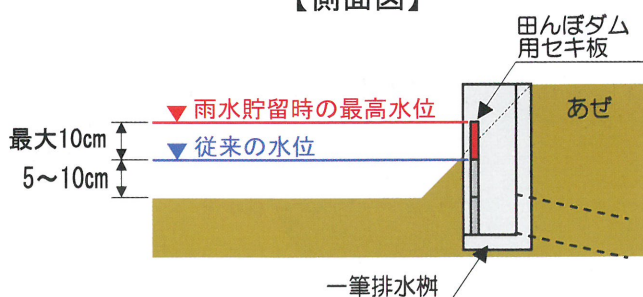
※木材は水位上昇時に浮く場合があるため固定が必要



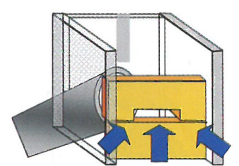
#### 【設置方法】

既存のセキ板の上に「田んぼダム用セキ板」を設置します。普通の雨は切欠きから排水され、激しい雨の時に水位が上昇し、セキ板から越流して排水されます。

#### 【側面図】

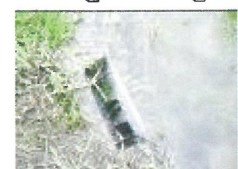
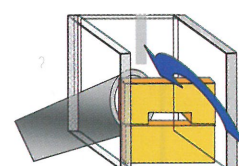


#### 【普通の雨】



切欠きから排水

#### 【激しい雨】



一時的に水位が上がりセキ板を越流し排水